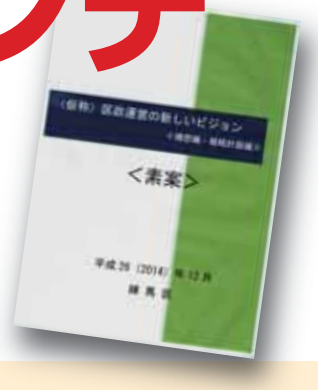
これは大変！

練馬の福祉が大ピンチ

― 区長がうちだした「新ビジョン」



昨年４月に誕生した前川区政は、昨年末「区政運営の新しいビジョン（素案）」を発表。
ところがその方針では、保育も医療も重大な大後退になることが明らかになりました。

今年度は〝全都一番〟の17園増設したのに、来年度は４園に

認可保育園建設が大後退

リーマンショック以来、練馬区では保育希望者が急増し、多数の待機児が発生しました。共産党は、待機児ゼロへの解決には「認可保育園の大幅増しかない」とくり返し要求し、保護者の運動とも力を合わせ、認可保育園をこの４年で３６園と全都一の増設を実現。

練馬区は 14 年度 17 園、1211 人分を増やし、待機児ゼロを目指すと表明しました。

認可保育園待機児は 800 人以上も（2月末現在）

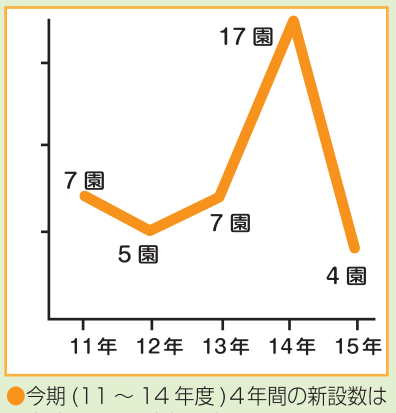
ところが、１５年度区予算では、認可保育園の新設が僅か４園と大幅に後退しました。

希望者全員の「認可保育園」入園は、行政本来の責任です。ところが、800 人以上が、認可保育園に入れない事態になっています。（2月末）

区は、むりやり認可外保育施設に割り振りかねません。

力をあわせて大改悪をはね返しましょう。

練馬区の認可保育園新設数



●今期（11～14年度）4年間の新設数は合計 36 園と全都最高
●14 年度の１７園も全都トップ

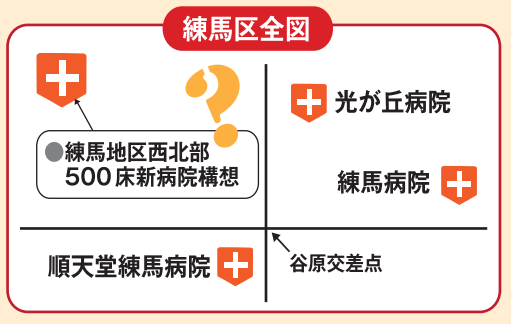
区民の切実な願い、500 床の新病院計画が消える

救命・救急、高度な医療の病院新設に黄信号

「新ビジョンでは「検討課題」に格下げ

前区長は「区西北部に500床の急性期病院の新設」を公約し、10 年間でベッド数を約 800 床増やす目標を示しました。

ところが「新ビジョン」では「検討課題」に格下げ。10年後の増床目標すら示していません。



練馬の病床数は 23 区平均の 1/3（人口比）

救急入院の６割が区外の病院という、練馬の病床不足は深刻です。ところが都の「地域医療圏の規制」で、病床数を増やすには都の許可が必要です。その「見直し」は、2017 年度です。今の時期に、区長が、区民の声を代表して、東京都に迫る立場に立つことが大切です。

そのために共産党は、全力でがんばります。

「新ビジョン」容認の
自民・公明・民主・維新

区の15 年度予算と「新ビジョン」にたいし、日本共産党は区民の立場で追及し、「重大な問題がある」と反対しました。自民・公明・民主・維新の各党はそろって賛成し、容認・推進の立場です。

子育て、医療の後退許さないため 日本共産党を 5名から6名 に伸ばしてください

日本共産党練馬地区
くらし・医療対策部長

さかじり正由喜

坂尻まさゆき

私の後継者です。よろしくお願いします
前区議会議員　かまた百合子

プロフィール
●1971 年北町生まれ、44 歳 ●北町西小、練馬東中学卒 ●1989 年練馬工業高校を卒業、印刷会社に勤務●2002 年赤旗練馬出張所員●2012 年衆院東京９区に立候補し、総選挙を闘う●趣味：映画鑑賞、カラオケ

連絡先
■坂尻事務所　5399−5640（FAX 兼）
■日本共産党練馬地区委員会　3998−5621

練馬区民新聞 2015 年３・４月号外　発行：練馬区民新聞社　発行責任者：中川のり子
連絡先 03-3999-9270 ■日本共産党練馬地区委員会が発表した見解をお知らせします。

御意見などは
(3998)5621 日本共産党練馬地区委員会へ